

## 家庭

## お墓の業者選び 慎重に

墓石業者の全国組織「全国優良石材店の会」（東京都品川区）は、21日から24日まで、フリーダイヤルでお墓に関する電話相談を受け付ける。92年から春と秋のお彼岸シーズンに実施しており、今回で22回目。

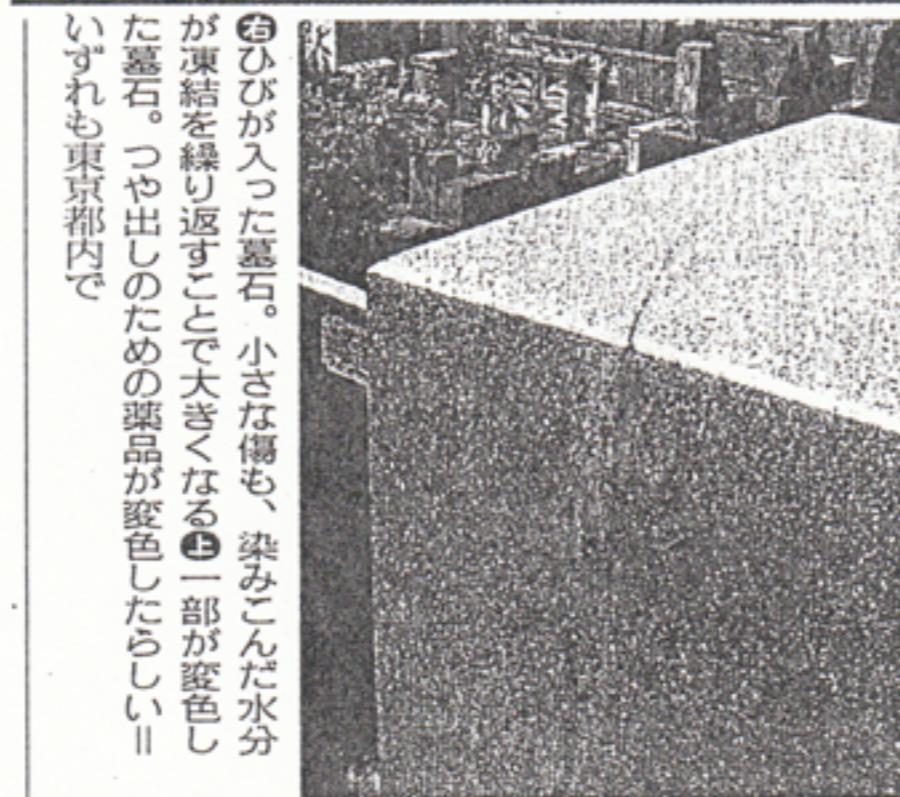
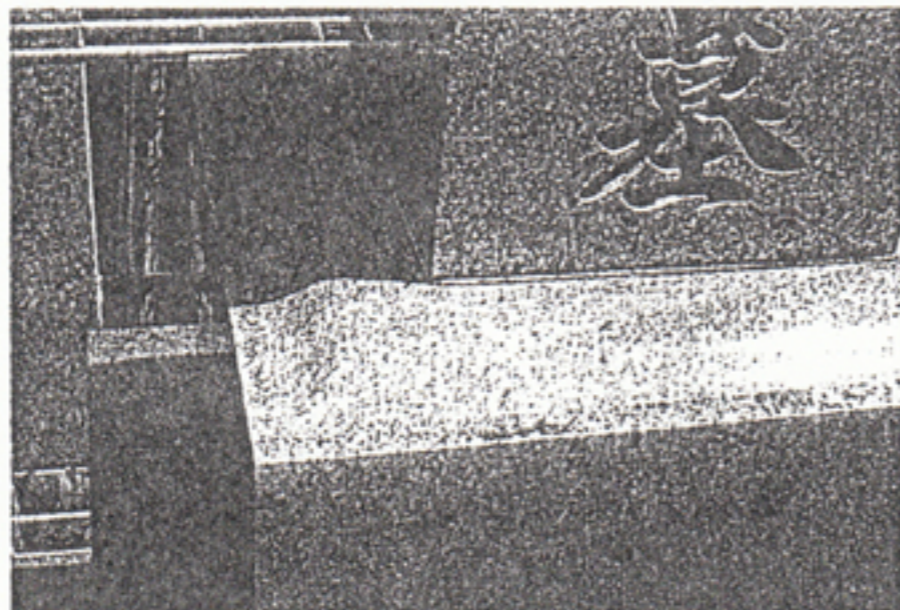
ここ数年で最も多いのが、お墓の引っ越し（改葬）に関する相談だ。山崎正子事務局長は「都会に住む団塊世代が

### 増える引っ越し 21日から電話相談

お墓を建てる時期になり、故郷のお墓も一緒にしようと考えた人が多いようだ」と話す。

遺骨は墓地理葬法によって、市町村の改葬許可証がないと動かすことができないため、その手続きを尋ねるケースが多いという。

電話相談は午前10時～午後4時。無料で、匿名の相談も受け付ける。番号は0120・141・996。



ひびが入った墓石。小さな傷も、染みこんだ水分が凍結を繰り返すことで大きくなる。一部が変色した墓石。つや出しのための薬品が変色したらしい。いずれも東京都内で

井口さんは、素人が手抜きを見つけてるのは難しい、としたうえで、「最低限の見極めとして、業者に墓石の産地と加工地を尋ねること。それすら答えられない場合も珍しくない。信頼できる業者なら、石の種類を表示した図面や具体的な見

見たい目は分からないような小さな傷でも、水分が入り込んで凍結を繰り返せば、やがて大きなひび割れになる。コストを削減するために、磨く回数を減らした墓石や、つやを出すために薬品を塗ったものもあるという。いずれも短期間でつやがなくなる恐れがある。中国産を国産と偽る悪徳業者のうわさも絶えない。

## 輸入と共にトラブル急増

国民生活センターに寄せられた、お墓と永代使用料についての相談件数は、02年度に1120件と初めて千件を超えた。5年前は596件で、毎年のように増

えている。最近の相談内容は「彫りが深すぎて石が欠けているのに気が付いた」「基礎工事が雑で墓が陥没してき

お墓の建立を巡るトラブルが急増している。何世代にもわたって使われるものなのに、買って間もなく墓石が欠けたりひび割れしたり。国民生活センターへの相談件数はこの5年で2倍になった。中国産の墓石が増え、価格競争が激しくなったために、粗悪品を売っている業者も目立つという。信頼回復のため、石材業界は来年2月から、お墓の専門家を認定する制度を始めることにした。

「5年ほどで墓石に大きなひびが入った」など。業者の経験不足が原因とみられる例が目立つ。全国の石材業者800社が加盟する日本石材産業協会（東京都千代田区）の江野専務理事は、トラブルの背景について「中国から

### 「欠けた」「ひび割れ」「変色」…

墓石が大量に輸入されるようになり、安さを売りにする業者が増えたため」とみる。

### 「専門家」認定で知識の底上げを

日本石材産業協会

中国産は国産より3割から5割ほど安く、この10年で輸入金額が5倍に増えた。今では墓石全体の8割を占めるという。国産と比べて入手が容易なため、仏壇業者や造園業者など異業種からの参入も目立つようになった。東京都練馬区で石材店を営む井口健二さん（48）は「加工技術も向上しているのが中国産だから悪いというわけではないが、安く売るために、本来なら捨てる部分まで輸入している業者もある」と話す。

見た目では分からないような小さな傷でも、水分が入り込んで凍結を繰り返せば、やがて大きなひび割れになる。コストを削減するために、磨く回数を減らした墓石や、つやを出すために薬品を塗ったものもあるという。いずれも短期間でつやがなくなる恐れがある。中国産を国産と偽る悪徳業者のうわさも絶えない。